



学塾通信 9 月号 学塾通信(第 165 回)

9 月 2 日(水)～4 日(金)、9 月 21 日(月・祝)・22 日(火・祝)・23 日(水・祝) は
授業調整日です。通常授業はありません。

今月は、中国の有名なことわざ「学如逆水行舟，不进则退」を紹介します。

学問は流れに逆らって船を進めるようなもので、進まなければ押し流される。つまり、努力し続けなければならないという意味です。

中国の学校から堀江中学に転入し、2025 年の 2 月から一緒に学んできた生徒が、淡路島の全寮制の学校へ転校するため、7 月末で学塾を卒業しました。入塾当初を振り返ると、彼はやって良いことと悪いことの区別をつけることができず、周りを巻き込むイタズラをしていました。私も、ことの大きさをわかってもらうために、かなり厳しく注意をしました。他の生徒への影響を考え、継続しての通塾は困難であることをご両親にお伝えしたこともあります。

そんな彼が一皮むけたと感じたのは、高校受験が終わった後です。学ぶ姿勢に落ち着きが出て、見違えるように学習に向き合うことができるようになってきました。受験勉強を通して勉強の型が身についたのでしょう。高校進学後も学塾を続けたいと、高校入学以降もしっかり頑張っていました。

そんな矢先、突然の転校の連絡でした。彼が伸びていく土台ができ、これからだというときの卒塾を私たち講師陣は、とても残念に思っています。

これから親元を離れての寮生活、大変なこともあるでしょう。そんな時には冒頭に紹介した詩を読み返して頑張ってください。頑張れ R くん！！

「学如逆水行舟，不进则退」これは今年度の受験生にも伝えたいことです。夏の高校説明会やオープンスクールに参加した人は、説明会に参加する人の多さに驚いたのではないのでしょうか。どの受験生も希望する学校に合格するために一生懸命に頑張っています。受験生のレベルが高くなればなるほど、しっかり入試対策をして本番に臨んできます。公立高校の C 問題を受ける人たちは、共通問題である理社は満点を取ることができるような準備をします。そのような意識の人たちと競っていくことを理解した上で、受験勉強に臨んで欲しいと思います。宿題や課題をこなすための勉強は、みなさんが必ずしなければいけない勉強です。それを終えたあとの勉強が、自分自身に本当に必要な力をつけるための勉強です。宿題や課題を終えて「勉強が終わった」と思っている人はもう一歩先へいきましょう。

最後にもうひとつ、14 期生全体として頑張ろうという雰囲気をつくっていくこと、これも本当に大切です。基本的な問題が解けなくてへらへらする、宿題を忘れて残されていることが笑いになるような雰囲気はいりません。程よい緊張感と真剣に取り組む空気を求めています。

教室の雰囲気づくりは非受験生のみなさんにも協力して欲しいことです。

来年以降の自分たちの姿だと思い、先輩方の取り組みを見て感じて欲しいと思います。

まだまだ暑いですが、暦の上では秋。受験校を決める秋です。

志望校合格に向けて日々の学習を積み重ねていきましょう。



○請求書の発行について

10 月分の請求書は紙とアプリ両方で 9 月末に発行します。

不具合無く円滑に運用できるようであれば翌月以降はアプリのみ、もしくは保護者様の確認状況を鑑みて翌月も紙とアプリを併用します。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X にて配信しています。

○教室への連絡について

遅刻・欠席に関する連絡はアプリから「塾長送信可」宛に送ってください。

「送信不可宛」に送信すると確認が遅くなります。

メールでご連絡をいただいている方はアプリからの連絡に変更をお願いします。

○欠席連絡等についてのお願い

欠席連絡等について、お子様に一任しているご家庭があります。それによるロスが多いため、**欠席連絡は保護者様からお願いできればと思います。ご協力よろしくお願いします。**

- ・生徒自身が旅行の日時を間違えて塾側に報告したため、別日程で振替調整をした授業がすべて欠席になった。
- ・講習会の申込み書を生徒が提出していなかった。また、講習会は受けることができないと塾生からの申告があった。しかし、保護者様は講習会の申込みをしているという認識であった。
- ・生徒は欠席連絡をしていたが、保護者様は塾に行っていると思っていた。

など、本来必要の無い調整ができました。

このようなお願いをするのは恐縮ですが、教室運営上ご協力いただければ幸いです。

☆小学生☆

○6 年生の後半の時間の使い方について

小学 6 年生はいよいよ、小学校の学習内容の終盤に入ります。

中学校への準備として大切な単元は「計算・割合・速さ」です。分数の計算に不安がある人は、小学生の間に正確に計算できるように練習をしておきましょう。速さの単元では「距離」と「速さ」と「時間」の関係を理解できているかどうかが大切になります。

小学生の間に学んできた内容を文字で表現をすることが中学数学の基本です。

(小学生) 1300 人の生徒のうち、自転車通学の割合が 15% → $1300 \times 15/100 = 195$ (人) の生徒が自転車通学

(中学生) 1300 人の生徒のうち、自転車通学の割合が Y% → $1300 \times Y/100 = 13Y$ (人) の生徒が自転車通学

基本がわかっていない場合 $1300 \div Y/100$ としてしまう間違いや、そもそも $Y/100$ が出てこないということもあります。

これは一例ですが、他の単位でも同様です。小学生の間に学んできたことが中学生の学習に繋がります。中学校に入学するまでの期間で、学習習慣を確立するための学習スケジュールを立てるだけでなく、小学校で習った学習内容の定着(算数・漢字・英語)も意識して、残りの小学校生活を過ごしていきましょう。

☆中学受験生☆

中学受験生のみなさんは、志望する学校に向けて受験勉強を頑張っていると思います。

今の頑張りは中学校の進学以降に大きく役立ちます。どこの私立中学に進学しても、学校からの課題はそれなりにたくさんです。長期休暇にも講習や勉強会があります。中学に入学してからの学習に対応することができるかどうかが受験勉強を通して問われているのです。

夏期講習会の前半は、これまで学習してきたことの演習を中心に行いました。復習を通して反復練習の大切さを実感してくれたと思います。9月以降、夏期講習会が終わっても通常授業の宿題・学校の宿題に加えて、これまで学習してきたことの復習に割く時間を取るようになしてください。

6年生はいよいよ、過去問を解き始めます。

以下の2点は必ず守ってください。

- ・教科ごとの時間を計って解くこと。
- ・担当の講師から指示される前に過去問を解かないこと。

最初から良い点数を取ることはできないと思っています。過去問の解き始めは、現状を把握し合格点を超えるためには何をすべきかを考えていくための機会です。

○模試について(小学6年生・5年生)

第4回 五ツ木模試 8月30日(日)

☆中学生☆

○中学1年生(16期生)・中学2年生(15期生)

定期テストで目標点に届かない人ほど、机に向かう時間が少ない傾向があります。

この流れを変えるために、自主学習への声かけを行っています。しかし「用事があります」「今日は早く帰って来いと言われています」という返事でなかなか変えられません。ご家庭の状況までは把握していないので、そのように言われると何とも言えません。また、自主学習の約束をしているのにその時間に来ないことも残念ですがよくあります。

「約束を守れるか」「主体的に学習できるか」は一人ひとりが持っている性格や資質によるところが多く、声かけだけでは難しい点もあります。しかし、毎回の声かけによって大きく変わる人もいます。実際に中学2年生で入塾、前の塾では5科200点に満たなかった生徒が400点を越えるところまで伸びたこともあります。

夏休みは学校の授業が進まないため個々の弱点を強化できると、私も意気込んでいました。目標点に届かないでいる生徒に向けて、ここまでやりたいと考えていたことのすべてが達成できたわけではないまま、2学期を迎えることになってしまいました。このような現状を踏まえつつ、次の方針を考えていきたいと思っています。

☆中学3年生☆ (14期生)

9月から模試の受験が必須になるため、模試の受験について大切なことをお伝えします。まず何のために模試を受験するのかをはっきりさせることです。同じ模擬試験でも9月に受験をすることと、11月に受験をするのでは受験の目的が違います。

一番良くないのは、結果だけ見て「偏差値が〇〇だった」で終わってしまうことです。間違えた問題の見直しは必ずしましょう。特に多くの人が正解している問題については、必ずやり直しをしましょう。

そして模試をつかって知識の定着を確認することです。模試に出て来た単元で理解不十分だと思えば、その単元をやり直しましょう。

普段使っている塾の教材で模試に出題された単元の基本を確認し、他の問題集でも類題を解いてください。9月の模試は教材と思って取り組みましょう。

○高校受験生の部活引退後の時間の使い方について

これまでは部活動があり、夜にしか学塾に来ることができなかった人たちも、夕方の時間を使えるようになりました。この時間を有効活用してください。学校の部活は引退しましたが、これからは「受験勉強部」に入部したと思い、部活動の時間を受験勉強に充てるようにしてください。

学校の帰りに塾に寄る。ご飯を食べるために一度帰宅し、夜に再度通塾する。

これを受験終了までやり切れれば、希望する学校へ進学できます。

○進路面談について

10月2週目から希望者を対象に個人面談を実施します。

11月・12月の学校での懇談を経て受験校の決定となります。その前に現状をお聞きし今後の方針について話をさせていただければと思います。

9月にアンケートを回覧します。

○公立高等学校アドミッションポリシーについて

令和9年度大阪府公立高等学校アドミッションポリシー（求める人物像）並びに学力検査問題の成績及び調査書の評定にけるタイプが発表されています。詳しくは大阪府のホームページをご覧ください。（7月25日のX @gakujoyukuhorie でもリンクを貼っています。）

○推薦での進学をする方について

部活動等で、高校からの推薦が出ている方についてのお願いです。

学塾の方針として高校に入学以降のことも考え、一般受験と同じような受験指導をします。

推薦だからといって、勉強をしなくて良いという指導はしません。

ご家庭でももう一度、そのように伝えていただければ幸いです。

○中3 塾長講座について

第5回 9月5日（土）13：30～19：00

○模擬テストについて

第4回 五ツ木模試 9月13日（日） 必須回です。

今回初めて五ツ木模試を受験する方は、申込用紙の提出とともにマイページの登録をお願いします。

その際に必ず塾の登録をお願いします【学塾 S60600】です。

塾の登録が無ければ団体申込みの際に申し込みができません。

☆高校生☆

○高校1年生

夏休みも終わり2学期が始まります。1学期に高校内容の学習をしてみて、中学校で学習したことが高校の基礎内容となっていることが分かったと思います。同じように、1年生で学習したことが2年生以降の内容に繋がります。ですから、今学習していることをしっかり理解できるようにしてください。

特に指定校推薦での大学進学を目指す人は、高校1年生からの内申が評価基準となります。

日々の学習を大切にしてください。

○高校2年生

具体的に大学進学の準備をしていく時期になってきました。

大学受験（一般入試）と高校受験では自主学習の時間が大きく変わります。

高校受験の倍の時間や量が求められると思っていてください。

私立大学は多くても3教科入試です。その分一つひとつの内容を深く学ばなければいけません。

毎週1回の授業の位置づけはペースメーカーです。1週間の学習がどうであったのかを確認しながら、翌週の自主学習を進めるような方針です。

学塾の大学受験で成功している人は、開校時間帯のほとんどを自主学習に充てることができています。

○高校3年生

学校型推薦入試の季節が近づいてきました。

私立大学の入試制度は高校入試のように統一されていません。

各大学が公表している資料を確認し、十分に対策をして試験に臨みましょう。大学が実施しているオープンキャンパスや説明会でも詳しく説明があります。事前に必ずチェックをしてください。

また、公募入試に合格した後一般入試を受ける場合は、公募後の入学手続きをどうするかなども考える必要がでてきます。諸々の手続きの日時を確認した上で、出願するようにしてください。

2026 年度 新年度 塾生募集について

【高校生】募集終了

【高校受験 中3】募集終了

【高校受験 中2】募集終了（キャンセル待ち2名）

【高校受験 中1】募集終了

【中学受験 小6】募集終了

【中学受験 小5】募集終了

【非受験 小学生】募集終了

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>

【X】 <https://x.com/gakujoyukuhorie>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>